



# なぎがまCSだよ！

第15号

2021年2月1日発行

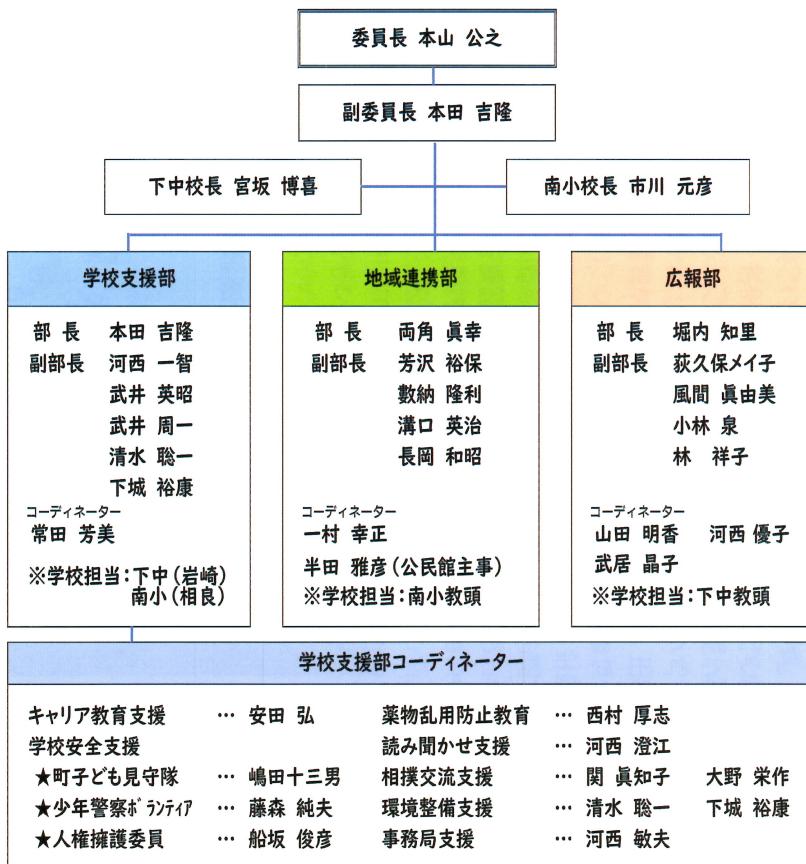
発行責任者 本山 公之  
編 集 広 報 部

なぎがまCS事務局

下諏訪中学校 ☎27-3000

下諏訪南小学校 ☎27-5000

## 令和2年度なぎがまコミュニティスクール組織図



全国の小中高特別支援学校の  
一斉休校という前代未聞の緊急  
事態で令和2年度がスタートし  
ました。この未曾有の事態に私たちの  
生活は一変しました。ソーシャ  
ルディスタンスにはじまる三密

の回避、マスクの着用、手指の  
消毒、机・椅子の消毒、大声の  
禁止など、ワクチンも治療薬も  
ない新型コロナウイルスに対する  
感染防止対策を世界中が行う  
という新しい生活様式へと変わ  
りました。

2か月の休校が終わり学校が  
再開したのは2月中旬でした。  
マスク姿ではありましたが、学  
校や地域に子どもたちの元気な  
姿が戻ってきたことは本当にう  
れしかったことを覚えていています。  
その後も新型コロナ対策のた

## 令和2年度 なぎがまコミュニティスクール運営委員

### △コロナ禍で制限された学校生活・地域活動 △

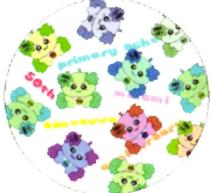
め、例年とは違う学校生活を余  
儀なくされました。予定されて  
いた多くの集会や学校行事も縮  
小されたり中止になったりしま  
した。なぎがまコミュニティスクー  
ル（なぎがまCS）としまして  
も、今年度は上記組織図の学校  
運営委員により活動をスタート  
しましたが、学校支援部の荒沙  
部屋力士との交流、OBSES  
SIONの音楽鑑賞は中止とな  
りました。また地域連携部とし

ても各地域行事が中止となるな  
ど、子どもたちが地域と関わる  
機会もなくなってしまいました。  
以前のような生活が送れるよ  
うになるにはもう少し時間がか  
かりそうですが、子どもたちの  
笑顔のために、なぎがまCSは  
学校、地域、家庭と連携しながら  
できる限りの活動支援を続け  
ていただきたいと思っております  
でご理解ご協力を宜しくお願  
いいたします。

なぎがまCSでは南小五〇周年  
記念式典を開催する予定でした  
が、全校放送による各教室のテ  
レビ画面を通じての式典となり  
ました。式典の最後には五〇年  
の歴史をまとめたDVDを鑑賞  
し、子どもたちは昔の南小の映  
像に興味津々な様子で見入つ  
っていました。

1月22日には南小大体育館で  
記念式典を開催する予定でした  
が、全校放送による各教室のテ  
レビ画面を通じての式典となり  
ました。式典の最後には五〇年  
の歴史をまとめたDVDを鑑賞  
し、子どもたちは昔の南小の映  
像に興味津々な様子で見入つ  
ていました。

なぎがまCSでは南小五〇周



缶バッヂデザインの一つ。  
子どもたちの手書きのデザインも缶バッヂにするそ  
うです。

のあらゆる場で幅広く活用  
頂きたい」と話していました。  
缶バッヂは南小五〇周年記念  
事業実行委員が、子どもたちか  
らデザインを募集して約九〇〇  
個を製作する予定です。

祝  
南小五〇周年



年記念事業実行委員会と南小学

校への支援として、南小と下中  
の子どもたちに贈られる記念品  
の缶バッヂを作成する機械を寄  
贈しました。なぎがまCS本山

公之委員長は「寄贈した機械は  
なぎがまの両校はもとより、ノ  
ース諏訪ネットワークさんや教  
育のあらゆる場で幅広く活用  
頂きたい」と話していました。  
缶バッヂは南小五〇周年記念  
事業実行委員が、子どもたちか  
らデザインを募集して約九〇〇  
個を製作する予定です。

## 学校支援部ルポ なぎがま講座（下中）& English challenge day（南小）



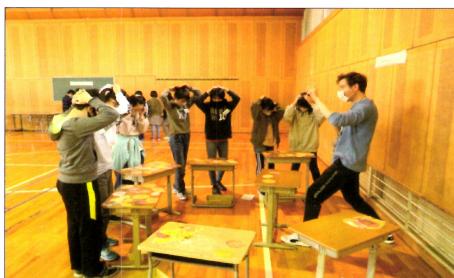
田代先生の講義風景。当日は諏訪湖に生息する手長エビとスジエビを持参して見せてくださいました。手長エビとスジエビの見分け方も教えてくださいました。



講師の田代誠也先生は東京都出身。幼少期より生物に興味があり、大学卒業後長野県水産試験場に勤められ、現在は手長エビやしじみの養殖の生産技術開発に関するお仕事をされています。

田代先生は「このなぎがま講座を通じて、普段知りえない諏訪湖を広く知つてもらい、諏訪湖の生物についても興味を持つてもらいたい、さらに深い探究してほしいです。」と話していました。

田代先生、貴重なお話をありがとうございました。



オリジナルハンバーガー早押しクイズの様子

毎日南小で英語を教えるALTのエイミー先生は「子どもたちは元気に英語にチャレンジしてくれました。1年生

編集後記

例年、なぎがまCSだけではなく、取材機会がなく残念でした。来年度は元気な子どもたちにまつわることを期待しています。

下諏訪中学校の総合的な学習の時間には、子どもたち一人一人が探究課題を決め、自ら学ぶ「なぎがま講座」があります。

今年度は13の講座が開講しました。その中で最も人気の高かつた講座が「透明骨格標本にチャレンジ」でした。

9月の講座では、長野県水産試験場諏訪支場の田代誠也先生を講師に、「諏訪湖の浄化対策と現状」「漁場の保全について」「生物の採集について」等のお話をしていたとき諏訪湖についての探究を深めました。

田代先生の講義では、状態になってしまふことが原因であり、諏訪湖の生態系を守るためにもヒシを除去する必要があるという話がありました。講義を受講した3年生男子は「諏訪湖のことは知っているつもりだったが、先生の話を聞いて知らないことがいっぱいあ

ることがわかった。諏訪湖の環境を守ることは大切なんだと改めて分かった。」と感想を話しました。また1年生男子は「諏訪湖も漁場なんだと改めて知った。田代先生が持ってきてくれたエビを自分で諏訪湖で獲つてみたい。」という感想を話してくださいました。

11月下旬に南小でイングリッシュチャレンジデーが開催されました。この日は文字通り全校児童が「英語に挑戦する日」です。今年度より全国の小学校で必修科目となつた英語ですが、下諏訪町は昭和59年より町独自で中学校に外国人英語講師を採用。平成13年より小学校にもALT（外国语指導助手）を配置するなど英語教育に力を入れてきました。そして平成16年に英語教育推進特区の認定を受けています。

イングリッシュチャレンジデーのこの日は、町内小中学校に勤務するALTや町内の英語塾講師ら9人を迎えて、各学年ごとに体育館に集い、数人ずつのチームになり、顔パズル、ジェスチャー、お絵かきなど13種類のゲームブースを回りながら英語に親しみました。各ブースでは英語でゲーム説明を聞き、ジェスチャーを交えながら、懸命にチャレンジしていました。

6年生男子は「英語でハンバーガーの具を聞き、オリジナルハンバーガーを作るゲームが楽しかった。外国人の先生が優しく教えてくれてうれしかった。」と感想を話してくれました。

## 「なぎがま講座」透明骨格標本にチャレンジ

ともいうべき諏訪湖に生息する生物を透明標本にして学習を進めていく中で、諏訪湖の自然環境についても学ぶ講座です。

光が湖内に届かず、低酸素状態になつてしまふことが原因であり、諏訪湖の生態系を守るためにもヒシを除去する必要があるという話がありました。



講座で実際に作った透明骨格標本。すごい！左からイモリ、わかさぎ、スジエビ

## イングリッシュチャレンジデー 楽しく英語に親しむ

からやつている英語をこれからもいっぱい話してほしい。」と話してくださいました。講師の皆様、本当にありがとうございました。



9人の講師のみなさん。出身国は違えど共通語は英語！